

御財印めぐり

大阪府登録文化財所有者の会

■活動内容

今回は、御財印のさらなる普及を目的として、北河内・北摂を中心とする未作成地域などの歴史的建造物 16 件について御財印を制作し、併せて御財印を設置する歴史的建造物の解説パンフレットを 5,000 部作成した。そして、御財印めぐりの魅力を伝える講演会も開催した。

また、御財印を設置している歴史的建造物等を巡るまち歩き（御財印めぐり）を実施するとともに、歴史的建物の住居（旧中西家住宅）を会場として煎茶のワークショップを開催した。

江戸時代からの茶文化を受け継ぐ煎茶家・一茶庵宗家嫡承の佃梓央氏の指導のもと、煎茶道と文化芸術を代々大切にしてきた住居を会場とした。一杯のお茶が淹れられるのを待つ時間をいかに楽しみ、自らを高めることができるのかーそれこそが煎茶道において最も大切にされる精神である。

かつて庄屋屋敷で行われてきた文人文化との交流に思いをはせ、空間や室玲、そして時間を味わう楽しさを次世代へ伝えることは、文化・歴史・コミュニティの結束、さらには次世代の育成と地域の活性化にもつながるものと考えている。

■コンセプト・ねらい

御財印（歴史的建造物名の黒印と、建物の特徴的な部分を表した朱印から成るもの）とは、寺社の御朱印の“建物版”である。御財印を設置している大阪府内の登録文化財を中心とした歴史的建造物を巡り、御財印帳（集印帳）に集印することをきっかけとして、歴史的建造物の文化的重要性を理解し、愛着を持ってもらうことを目的とする。

パンフレットの作成そして講演会により、歴史的建造物の周知と魅力の発見、さらにはその重要性を身近に学ぶ機会を創出する。集印のために現地へ赴くという主体的な行動は、所有者や地域の人々との交流を生み出すことが期待される。これらの取り組みを通じて、参加者および地域住民のシビックプライドの醸成を図る。

また、御財印を頒布する歴史的建造物を会場としてユニークベニュー事業を実施する。これらの活動を通じ、歴史的建造物の文化的重要性への理解と愛着を深め、登録文化財等の普及啓発を進めるとともに、次世代への継承および地域の活性化を目指す。

■活動実績

御財印作成

北河内・北摂を中心とする地域 16 件

旧中西家住宅・門真市立歴史資料館・平池家住宅・四條畷市歴史民俗資料館・交野市立教育文化会館・市立枚方宿鍵屋資料館・枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館・旧一津屋公会堂・旧西尾家住宅・萱野三平記念館・豊能町立郷土資料館・野間のおおけやき・飯盛城跡・司馬遼太郎記念館・伽羅橋・大阪府立工芸高等学校

御財印しおり作成

A5 サイズ 全 24 ページ 160 件掲載 5,000 部印刷



令和7年度 歴史を知り、文化にふれ、まちを楽しむ

講座「都市周縁部のまち歩きと土木遺産の魅力」講師：船越幹央氏 参加人数：35名

まち歩き「吹田市岸部の御財印めぐりとまち歩き」講師：船越幹央氏 参加人数：6名

ユニークベニュー「煎茶体験：集って交わす「煎茶」のたのしみ」講師：佃梓央氏 参加人数：40名



■成果・効果

本事業で対象とする建物は当会会員所有であることから公開への協力が得られ、さらに登録文化財であることにより国・府・市町村との連携体制を構築することができた。今年度は行政の協力を得ながら、民家を中心に御財印の頒布箇所の拡充を進め、大阪府内43市町村すべての行政に対して御財印作製の働きかけを実施した。

令和5年度・令和6年度・令和7年度に芳泉文化財団地域文化活性化助成金を継続して受けたことにより、本事業への社会的信頼と期待が大きく高まり、助成に依存せず自己負担により御財印を作成する施設も現れた。その結果、御財印頒布箇所は着実に増加し、今年度末時点で合計160か所に到達した。これは府内各地を巡る周遊性の向上と、地域文化資源の活用促進に大きく寄与している。さらに、他団体主催（当会協力）による御財印めぐりをテーマとしたまち歩きやパネル展示が複数実施されるなど、事業の波及効果が広がり、「御財印めぐり」の認知度は着実に向上している。

船越幹央氏による講座と、御財印を集めながらの吹田市岸部でのまち歩きでは、御財印めぐりの魅力の発信に加え、地域の文化・歴史・地形への理解を深める学習機会を創出した。ユニークベニュー事業として実施した旧中西家住宅での煎茶体験では、一茶庵宗家嫡承・佃梓央氏により文人文化と煎茶を学び、世代を超えた参加者が歴史的建造物の空間で交流し、文化体験を通じて建物の歴史と価値を実感する機会となった。館長およびボランティアガイドによる解説を通じ、歴史的建造物の維持・保存・活用の現状と課題への理解が深まり、参加者の関心を喚起した。実施後の反応として「他の場所でも御財印を集めたい」との声が多数寄せられ、新規参加の動機形成にもつながっている。

本事業は、頒布箇所数の拡大（160か所）、全市町村への働きかけ（43市町村）、関連イベントの派生実施など、量的・質的双方において継続的な成果と波及効果を創出した。

■今後の展開

今年度は多数の御財印を新たに作成し、大阪府内全域において多様なテーマで御財印を求めて「めぐる」環境が整った。すでに「古民家御財印めぐり」「岡町の御財印めぐり」「大阪府立3博物館御財印めぐり」「吹田市岸部の御財印めぐり」など、テーマ性を持つ企画や、地域内・地域間を横断する周遊企画が生まれている。今後も御財印の頒布箇所をさらに拡充し、府内各地を結ぶ周遊型の文化資源ネットワークとして発展させていく。

御財印帳への集印という仕組みにより、個人・家族・グループが楽しみながら大阪のまちを巡る機会を創出し、その過程で地域の歴史的建造物の存在や歴史的背景を知る学習機会の継続的な提供を目指す。これにより、登録文化財への理解を深め、文化財のサポーターとなる市民の裾野を広げていくことを期待している。

また、歴史的建造物を活用したユニークベニユ事業としてワークショップや体験型プログラムを継続的に実施し、次世代が歴史と文化に触れながら保存・活用の重要性を実感できる機会を創出する。これらの取組を通じて、文化財の保存と活用を支える持続的な地域循環の形成を目指す。



大阪府立工業高等学校では授業の一環として、生徒たちにより「御財印」を作成



主催：大阪府登録文化財所有者の会 共催：大阪府教育庁
令和7年度 歴史を知り、文化にふれ、まちを楽しむ
「都市周縁部のまち歩きと土木遺産の魅力」

芳泉文化財団 地域文化活性化助成事業「御財印めぐり」

日時：令和7年8月10日 日曜日

講師：大阪大学総合学術博物館教授・副館長 船越幹央氏

大阪を中心に都市の生活・文化・空間を研究、NHK「プラタモリ」出演などを通して、まち歩きに普及に力を入れられる船越氏による講座（座学）です。御財印めぐりやまち歩きと土木遺産の魅力、そして、歴史と文化についてのお話を楽しみませんか。

講座「都市周縁部のまち歩きと土木遺産の魅力」

時間：13：30～15：30 13：15 受付開始

会場：大阪市立住まい情報センター5階研修室

大阪市北区天神橋6丁目4-20

※大阪くらしの今昔館は8・9階です。

参加費：¥1,500 参加人数：35名

お申込：カルテットオンライン 下記 URL または QR コード

<https://www.quartet-online.net/ticket/osaka20250810>

・参加費は当日受付時、現金にてお支払い下さい。

・お約りのないようお願いいたします。

・キャンセルされる場合には前日までに info@osaka-tobunkai.org までご連絡ください。当日のキャンセルあるいはご連絡のないキャンセルの場合にはキャンセル料（1,500円）頂戴いたします。

・講座のご参加には「大阪くらしの今昔館」の入館料は必要ございません。

「大阪くらしの今昔館」へご入館の場合には、別途入館料をお支払いください。

尚、「大阪くらしの今昔館」の御財印は館内に設置されております。



御財印めぐり

各地で大切に継承されてきた文化財などのデザインを表象した「御財印」を集めてめぐり、その地域の人々とのふれあいや文化・歴史を楽しみながら未来につなげる応援の旅です。現在、大阪府内は130か所で頒布されています。当日は「御財印めぐり」しおプレゼント。（御財印の頒布による収益は文化財継承のために活用されます。）



お問い合わせ：大阪府登録文化財所有者の会 事務局
mail: info@osaka-tobunkai.org 8/10の当日連絡先：06-6718-7012

主催：大阪府登録文化財所有者の会 共催：大阪府教育庁
令和7年度 歴史を知り、文化にふれ、まちを楽しむ
「都市周縁部のまち歩きと土木遺産の魅力」

芳泉文化財団 地域文化活性化助成事業「御財印めぐり」

日時：令和7年8月10日 日曜日

講師：大阪大学総合学術博物館教授・副館長 船越幹央氏

参加人数：一般35名 スタッフ：8名 総数43名聴講





令和7年度 芳泉文化財団 地域文化活性化助成事業

主催：大阪府登録文化財所有者の会 共催：大阪府教育庁・吹田市教育委員会

令和7年度「御財印めぐり」 歴史を知り、文化にふれ、まちを楽しむ 吹田市岸部の御財印めぐりとまち歩き



案内：大阪大学総合学術博物館教授・副館長 船越幹央

大阪を中心に都市の生活・文化・空間を研究。NHK「プラタモリ」出演
などを通してまち歩きの普及に尽力されています。



日 時：令和8年1月25日 日曜日
10:00～12:00 9:45受付開始
集合場所：JR京都線岸辺駅 2階改札前
参 加 費：¥2,500（当日お支払い）
参加人数：6名（当日キャンセル4名）



令和7年度 芳泉文化財団 地域文化活性化助成事業

主催：大阪府登録文化財所有者の会 共催：大阪府教育庁・吹田市教育委員会

令和7年度「御財印めぐり」 歴史を知り、文化にふれ、まちを楽しむ 煎茶体験：集って交わす「煎茶」のたのしみ



中西家ゆかりの様々な美術作品を愛でながら、ここに行き交う人たちがかつて嗜んだ「煎茶」を
楽しく味わいませんか。旧中西家住宅の建物・庭園見学(50分)と煎茶体験(50分)を行います。

会場：旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館) 吹田市岸部中4-13-21

国登録有形文化財・吹田市指定有形文化財・国登録記念物(庭園)
約1,000坪の屋敷地には文政9年(1826)建築の主屋や長屋門などが建ち、
江戸時代後期の大庄屋の屋敷構えを今日に伝え、庭園は作庭の位置や
造園の技法に特色があり、四季折々の美しさが目を楽しませてくれます。

講師：一茶庵宗家嫡承 佃 梓央

国登録有形文化財「佃家煎茶室」所有者で、煎茶・一茶庵宗家の後継者。
関西大学非常勤講師。2024年には大英博物館にて煎茶会を開催。

第1回目：10:00～12:00 9:50受付開始

第2回目：14:00～16:00 13:50受付開始

参加費：¥2,500

参加人数：第1回目 20名 第2回目20名 総数 40名

